

令和7年第2回津南町議会定例会会議録

(6月13日)

招集告示年月日		令和7年6月3日		招集場所		津南町役場議場			
開会	令和7年6月11日 午前10時00分			閉会	令和7年6月13日午後0時06分				
応招・ 不応招 出席・ 欠席の別	議席番号	議 員 名	応招等の別	議席番号	議 員 名	応招等の別			
	1 番	月 岡 奈 津 子	応・出	7 番	風 卷 光 明	応・出			
	2 番	滝 沢 萌 子	応・出	8 番	石 田 タ マ エ	応・出			
	3 番	村 山 郁 夫	応・出	9 番	栗 原 洋 子	応・出			
	4 番	関 谷 一 男	応・出	10番	吉 野 徹	応・出			
	5 番	久 保 田 等	応・出	11番	江 村 大 輔	応・出			
	6 番	筒 井 秀 樹	応・出	12番	恩 田 稔	応・出			
地 方 自 治 法第121条 の 規 定 に よ り 説 明 の た め 出 席 し た 者 の 職 ・ 氏 名 (出席者： ○印)	職 名	氏 名	出席者	職 名	氏 名	出席者			
	町 長	桑 原 悠	○	農林振興課長 農業委員会事務局長	小 島 孝 之	○			
	副 町 長	根 津 和 博	○	観光地域づくり課長 DMO推進室長	石 沢 久 和	○			
	教 育 長	島 田 敏 夫	○	建 設 課 長	鴨 井 栄 一 郎	○			
	農業委員長	藤 ノ 木 稔		教育委員会教育次長	滝 沢 泰 宏	○			
	監 査 委 員	藤 ノ 木 勤	○	ジオパーク推進室長	五 十 嵐 誠	○			
	総 務 課 長	高 橋 昌 史	○	会 計 管 理 者	太 田 昌	○			
	福祉保健課長	野 崎 健	○	病院事務長	小 林 武	○			
	税務町民課長	鈴 木 真 臣	○						
職務のため出席した者の職・氏名		議会事務局長		保坂 晃久		議会事務局班長		太田 一規	
会議録署名議員		5 番		久保田 等		10 番		吉野 徹	

〔付議事件〕

（ 6 月 13 日 ）

- | | | |
|--------|--|---|
| 日程第 1 | 報告第 1 号 | 繰越明許費繰越計算書の報告について |
| 日程第 2 | 議案第 47 号 | ニュー・グリーンピア津南運営支援基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 日程第 3 | 議案第 48 号 | 津南町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について |
| 日程第 4 | 議案第 49 号 | 財産の取得について（GIGA スクール構想第 2 期学習者及び指導者用端末等） |
| 日程第 5 | 議案第 50 号
議案第 51 号
議案第 52 号
議案第 53 号
議案第 54 号
議案第 55 号 | 令和 7 年度津南町一般会計補正予算（第 4 号） |
| 日程第 6 | | 令和 7 年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） |
| 日程第 7 | | 令和 7 年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） |
| 日程第 8 | | 令和 7 年度特定環境保全公共下水道事業会計補正予算（第 1 号） |
| 日程第 9 | | 令和 7 年度農業集落排水事業会計補正予算（第 1 号） |
| 日程第 10 | | 令和 7 年度津南町一般会計補正予算（第 5 号） |
| 日程第 11 | 議員派遣の件について | |
| 日程第 12 | 委員会の閉会中の継続調査及び審査について | |

議長の開議宣告

議長（恩田 稔）

これより本日の会議を開きます。

—（午前 10 時 00 分）—

議事日程の報告

議長（恩田 稔）

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

日 程 第 1

報告第 1 号 繰越明許費繰越計算書の報告について

議長（恩田 稔）

報告第 1 号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

本件につきましては、令和 6 年度津南町一般会計補正予算（第 18 号）及び（第 19 号）において、御承認いただきました繰越明許費の計算書の報告です。

細部につきましては、担当課長が説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

総務課長（高橋昌史）、福祉保健課長（野崎 健）、建設課長（鴨井栄一郎）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

これより質疑を行います。

8 番、石田タマエ議員。

（8 番）石田タマエ

繰越明許費なのですが、事業が年度内に終了できないということで、こういうかたちなるのだと教わってきていました。やはり事業が年度内に終了できないということは、それなりの理由があってできないものが繰越明許費になるのだというふうに私は今まで指導いただいてきたのですけれども、例えば、このニュー・グリーンピア津南の整備事業を中間事業者へということ、契約が 3 月 31 日になっていたのが 3 月 31 日に事業が終わらないで繰越明許費に上がっているという辺りの考え方は、それなりの客観的な認められる理由があってこうなっているのか。契約は 3 月 31 日なのに、なぜこうしなければならなかったのか。その辺りを教えてください。

議長（恩田 稔）

副町長。

副町長（根津和博）

議員御指摘のとおり、事業が遅れているということが第一の理由でございまして、このニュー・グリーンピア津南の件につきましては、3月末までに提案等を頂く予定でしたけれども、御案内のとおり提案等が4月にずれ込んだ。そのため、契約書についても延長するなかで、3月末の契約を4月末に延長するなかで繰越しをさせていただいたというところでございます。

議長（恩田 稔）

8番、石田タマエ議員。

（8番）石田タマエ

3月31日までに事業が終わらなかったから繰り越したということは重々分かってはいるのですが、やはりこういった契約がきちんと3月31日までというふうになっているのを事業が終わらなかったから繰り越せばいいのだというような、何でもいようなかたちですね。こういったことは、やはり行政のすることとして私は適当ではないと思うのです。契約は契約でやはりきちんと守っていただかなければならない。まさに契約書というのは優先するわけですよ、法的にも効力のあるものです。そこ辺りがうやむやになって、ただ相手が終わらないから延ばしてくれ、はいはい、繰越しですという安易な手法でこういったふうに繰越明許費に上げればいいのかという考え方は、やはり私は適当ではないと思います。

議長（恩田 稔）

副町長。

副町長（根津和博）

議員の考え方はおっしゃるとおりでございます。今回の件につきましては、かなり慎重を要することがございまして、これからの町政にも相当影響を与えるところでございましたので、慎重を期す上で繰越しをさせていただいたことを御理解いただければと思います。

議長（恩田 稔）

9番、栗原洋子議員。

（9番）栗原洋子

大体、繰越しになるのは雪降りの前に発注したものがずっと雪降りのために遅れた、年度内にできなかったということだと思います。この間、業者の方に言われたのですが、「いつも町の発注は雪降り前、10月頃になって発注がある。水回り関係の仕事とかそういうもので、なんでもっと早く発注できないのか。結局、雪降りの間はできなくて、3月になってもできない。それで結局、繰り越してしまう。」という話をしていました。ちょっとそれでは。「い

つもそうなんだ。」なんて言っていましたけれど、そこら辺はどうなのですか。もうちょっと早く、分かっているのだったら早く発注していいし、この中深見堂平線もそうですけれど、雪降り前にしっかりできるような、そういう発注はできないのでしょうか。

議長（恩田 稔）

建設課長。

建設課長（鴨井栄一郎）

発注についてです。一部、遅れる所もございますけれど、可能な限り早めに出させていただいているというところでございます。今回の中深見堂平線は、工事を最初始めたのですけれど、やっぱり場所的に水がすごく多い所がございました。なので、ちょうど擁壁を建てるか所でございますして、水が多いので、この水に耐えうる擁壁の構造かどうか、それを検討させていただきました。それで時間が掛かってしまったということでございます。また、今回の中深見堂平線については、2月に国の補正予算を頂きました。これは2月発注はできませんので、繰越しをさせてもらって、来年度契約をするというところでございます。

また、災害復旧事業につきましては、8月6日発生の豪雨でございますして、農地災害につきましては11月下旬に災害査定を行っておりますし、公共土木施設、道路事業につきましては、10月下旬に災害査定を行っております。それからの発注となりますので、降雪期間になるため繰越しをさせていただいているというところでございます。

全体的に工事的には可能な限り早く発注したいと思っておりますが、遅れてしまうというところもございますので、早い発注を心掛けたいと思っております。

議長（恩田 稔）

7番、風巻光明議員。

（7番）風巻光明

繰越明許費というのは、国から補助金、あるいは交付金を頂いているものについては、相当厳しい審査が行われて、留意書とかを書かなければいけないというようなことを私は聞いているのですけれども、それはそれでいいのですけれども、こういった表を見ると、個別には分かるのですけれども、全体像が分からないわけです。というのは、国の交付金が3月末ぎりぎりです。来たので間に合わなかったというのが何千万円ある。町がやるべきことが遅れてできなかったというのが何千万円ある。特に今、建設課長がおっしゃったように、不思議なのは、例えば8月6日の道路の災害が11月まで申請が掛かっているというようなことをお聞きしましたけれど、半年も掛かって。だから、11月なんて当然降雪期になってしまうのです。その辺が分からないので、もう少しまとめ方としてはそういった見方をしていかないと。国の交付金が遅れたのだから、これはしょうがないと私はそう思うのですけれども、では、町としてやるべきことができなくて遅れたのがどのくらいかという分類もしていただかないと非常に分かりにくいです。具体的にお聞きしたいのは、8月6日の災害がなぜ11月にやっと申請が終わったとかという、半年もたってから終わったのか、その辺をお聞きしたいのですけれども、よろしく願いします。

議長（恩田 稔）

建設課長。

建設課長（鴨井栄一郎）

今回は8月発生の豪雨だったのですけれど、災害査定というのは、県を通して国のほうへ報告します。災害が発生際でしたと、そういうふうに津南町だけでなく、ほかの市町村からもだんだん上がってくるのですけれど、それをみんなまとめまして、今度は国ほうから災害査定をいついつやりますよと通知が来ます。それに合わせて現場の杭やら現場やら設計書やら図面やら、金額的なものを用意するのですが、この国の災害査定が11月であったということなのです。ですので、降雪期前になってしまったということです。

議長（恩田 稔）

7番、風巻光明議員。

（7番）風巻光明

鴨井課長ばかり責めて申し訳ないのだけれど、ということは8月6日に起きた災害を年度内というか、もう雪が降るまでずっと放ったらかしにしていたということなんでしょうか。そういうことになりますよね、復旧しないで。そういうことでいいのですか。そういうふうに解釈していいのでしょうか。

議長（恩田 稔）

建設課長。

建設課長（鴨井栄一郎）

それまでは現場を確保するというか、コーンによって交通規制を掛けるとか、田んぼであれば田んぼが崩れた所を囲って支障の無いようにしたり、道路の所に土砂が出たものは撤去させてもらって車等が通行できるように最低限のものはしますけれど、一応、現場的にはそのままにしておかなければならないということもあります。金額によっては災害査定が事務所等の会議室ではなくて現場に来ることがございますので、やっぱり確保はしておいて。今回は冬前になってしまったので、繰越しをしたということです。

議長（恩田 稔）

ほかに質疑はありませんか。

—（質疑者なし）—

質疑を終結いたします。

以上で報告第1号は終了いたします。

日 程 第 2

議案第 47 号 ニュー・グリーンピア津南運営支援基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議長（恩田 稔）

議案第 47 号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

ニュー・グリーンピア津南運営支援基金について、一般財源による一般会計からの積立てを行うため、ニュー・グリーンピア津南運営支援基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正するものです。

細部につきましては、総務課長が説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

総務課長（高橋昌史）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

これより質疑を行います。

9 番、栗原洋子議員。

（9 番）栗原洋子

この基金の 3 億 2,500 万円ですが、ほとんど修繕に充てるわけです。緊急性といってちょこちょこ出てきますけれど、計画性が無いというか。修繕が今回も突然出てきましたけれど、エアコンもエレベータの修繕も、そして女子トイレ、これはいつ気付いたのでしょうか。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

それぞれ修繕に気付いたのは別々の時期になってしまいましたが、先ほど、エレベータの関係で繰越しというお話をさせていただきました。エレベータについては昨年来、人がエレベータの中に閉じ込められたという事案があったというのは、きっと前の時に御説明を議会の中でさせていただいておるのだと思います。そういったこともあって、点検を専門業者にさせていただいたということです。ですから、去年の暮れからずっとそういうことがあったということで、しっかりとまた確認をしたなかで、やはり老朽化、40 年以上たっているということなので、その時点で修繕が必要だと。やはりこういった、お客様の安全・安心を担保するためには修繕が必要だというものがあったのですが、なかなかこの社会情勢のなかで部品を調達するということが難しかったということで繰越しをさせていただいたところもあります。そういった

なかで、さらに同じ時期に造られたエレベータも同じように、お客様の安全・安心に危険を及ぼすようなことが見られるということが点検で初めて分かりましたので、その部分でさせていただきたいというものです。

それから、エアコンについても今年に入ってから点検業者が見たら、やはりチューブの中に結晶がいっぱいたまっているのだそうです。その結晶は、薬剤でチューブを洗ってやらないとこの夏の冷房に影響がある。ですから、しっかり冷房の機能強化を図るためには今しなければいけないというものです。

それから、トイレについては、これも今年になってからだと思っていますが、トイレの便器が割れていたということが分かりました。これもお客様の利便性の向上、使用できないということをいつまでも放ったらかしにしておけないわけでございまして、緊急性があるということで今回、お願いをするというものになります。

議長（恩田 稔）

9 番、栗原洋子議員。

（9 番）栗原洋子

緊急性は分かります。便器なんかは特に困ると思いますけれど。エアコン、これは今年に入ってからとおっしゃいましたけれど、今の時期ではなくて、もっと早めに修繕の計画を出していいのではないですか。緊急で出しますけれど、みんな緊急と言えばそういうふうになってしまいますし、エレベータも去年そういうふうに関込めがあって、また同じ年代のものがあるという説明がありましたよね。だから、もう去年の時点から修繕の計画というのはきちんと出して良いと思うのです。ましてや、あと2か月、3か月しかないところに、なんでこんなに緊急、緊急と言って修繕を出してくるのか。もっときちんと時系列で出して計画的に修繕してほしいと思います。今後、まだ2か月、3か月あるわけですから、その間にまた緊急性で修繕だというのはもうやめてもらいたいと思います。もうやめる所になぜそんなに修繕しなくてはいけないのか。施設診断の業務委託をしていますけれど、そこも緊急修繕は必要ないという文章があったのです。だから、緊急的に修繕する所というのは、今までずっと診断をしてきたのでしょうか、緊急的なものは無いと言っているのです。書いてありましたけれど。それなのに今、緊急、緊急と言って、わざわざ見栄を張るわけではないのでしょうか、改修する必要があるのかと思います。いかがですか。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

エレベータにつきましては、先ほども申し上げたとおり、昨年からそういった事案があったものですから早めにとということだったのですが、ただ、先ほども申し上げました、制御盤をいろいろ整備する部品の調達等々がなかなか間に合わなかったというなかで、恐らく繰越しをさせていただいたかなと思っております。そういったことがここに来て準備ができたということで、そこを進めさせていただきたいということです。

そして、今後まだ6月、7月、8月、9月とありますが、これは議員のおっしゃるとおり、私どもとしても全て出すということではないと私は思っています。ただ、先ほども申し上げましたが、まだこの6月、7月、8月、9月、お客様がずっと予約を取っていて、お客様が入ってきているわけです。そこでもし、お客様の安全・安心、あるいは生命、こういったものの危険につながるようなことがあるのであれば、そこは私どもとしてはリスク排除をしたい。これは家主として、そこはしっかり手当をすべきだと思っています。ただ、なんでもかんでも全部修繕をやるということではなくて、そういったことは少し精査をしますが、そこは御理解をいただきたいと思います。

議長（恩田 稔）

9 番、栗原洋子議員。

（9 番）栗原洋子

しっかり計画性を持ってやってほしいのです。機材が入らないという理由もあると思いますが、そういうものも含めて今から7月にやる、9月にやるという計画を出したほうが良いと思います。全く突然に出してきていますからね。新年度予算でも1億750万円の修繕費予算が上がっていますが、これはリフトの修繕と中央監視装置ですか、そういうものも出て多額の修繕費だということで私は反対したのですけれども。しっかりこういうものも、これだけ修繕費にお金を掛けているわけです。病院のことを言うとあれですけど、あれほど緊急性のあるボイラーとかも町立の施設なのに、そこには全く真剣に修繕費を掛けるわけでもない。こういうふうに民間の企業に次から次へと足りないような修繕費を出している。もう売却するので、そこはよく考えてこういう多額のお金を出すのは本当にやめてほしいと思います。

議長（恩田 稔）

副町長。

副町長（根津和博）

以前、議員の皆様にお配りしましたが、町で調べた今後10年間の修繕計画については計画どおりに。当然、何年にこういうことを予定しているとは出しておきますけれども、今回の件は、本当に今年に入ってからそういう箇所が見付かったということで緊急に、それもお客様に御迷惑を掛けるという部分がありましたので、出させていただいたことであります。計画は、当然きちんと私どもで計画表を作りながらやっているところでございます。病院につきましても、患者様に御迷惑を掛ける部分があるとすれば、当然、緊急的に修繕をさせていただいているところでございます。

議長（恩田 稔）

11 番、江村大輔議員。

(11 番) 江村大輔

ちょっと確認までなのですが、今の栗原議員と似ているのかもしれませんが、9 月末までにこれ以上の緊急的な修繕が発生した場合は、その都度、この条例の一部改正をするという認識でこちらはいればいいのか。何かというと、ほかのエレベータ 9 か所、40 年というのは今回で全部終わるのか。終わらないのであれば、何か緊急的なものがまた出てきてしまうのではないかというので確認だけ。また出てきた度に、この条例の一部改正を 9 月まではやるということなのでしょうか。

議長（恩田 稔）

副町長。

副町長（根津和博）

エレベータも 10 年計画の中で年度は決まっていますのですが、先ほど総務課長が申し上げたとおり、当然、お客様の安全が確保できないという事案が発生したら、大変申し訳ないので、また条例の改正はあり得ると思っております。

議長（恩田 稔）

11 番、江村大輔議員。

(11 番) 江村大輔

エレベータは 9 か所のうち、今回は何か所目なのでしょうか。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

9 か所というお話がありましたが、全部で 11 か所だと私は認識していて、そのうちの 2 か所だと記憶をしております。

議長（恩田 稔）

11 番、江村大輔議員。

(11 番) 江村大輔

私も調べていないので。では、まだ緊急的に止まってしまう所があるという認識でいればいいですか。今回では全然終わらないので。エレベータはきっと金額は大きいと思うので、そうすると、その度にこの一部改正というのが。今後、またどうなるかも分からないと思うので、その確認だけです。反対するとか、そういうことではなくて。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

エレベータの台数については、私も再度確認したいと思っておりますが、11 台のうちの今回は 2 台だということで私は認識しております。それから、エレベータについては、議員御指摘のとおり、建ててから具合が悪ければこれまでも軽微な修繕はしてきたのだと思いますが、これは仮定になってしまいますけれども、この 6 月、7 月、8 月、9 月の中でまた同じような事案が起きれば、先ほど、副町長が申し上げたようなところで議員の皆様にお諮りするなかで、基金上乗せをし、修繕をしなければいけない場合もあるかもしれません。

議長（恩田 稔）

ほかに質疑はありませんか。

—（質疑者なし）—

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 47 号について採決いたします。

議案第 47 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 47 号は原案のとおり可決されました。

日 程 第 3

議案第 48 号 津南町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

議長（恩田 稔）

議案第 48 号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

これまで芦ヶ崎小学校区内、上郷小学校区内の保護者や住民の皆様と小学校の統合について協議・検討を重ねてまいりましたが、この度、芦ヶ崎小学校、上郷小学校の 2 校を令和 9 年 4 月 1 日に津南小学校と統合させるため、津南町立学校設置条例の一部を改正するものでございます。

細部につきましては、教育次長が説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

教育次長（滝沢泰宏）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

これより質疑を行います。

—（質疑者なし）—

質疑はないものと認め、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 48 号について採決いたします。

議案第 48 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 48 号は原案のとおり可決されました。

日 程 第 4

議案第 49 号 財産の取得について（GIGA スクール構想第 2 期学習者及び指導者用端末等）

議長（恩田 稔）

議案第 49 号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

本財産取得については、GIGA スクール構想第 2 期の学習者及び指導者用端末等の更新に係るものです。

細部につきましては、教育次長が説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

教育次長（滝沢泰宏）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

これより質疑を行います。

—（質疑者なし）—

6 番、筒井秀樹議員。

（6 番）筒井秀樹

前回の 5 年間にに関して、この端末はどの程度役に立ったと考えておられるのか、それと、共同購入になったことによって、どのくらい経費が圧縮できたと考えるのか、お知らせください。

議長（恩田 稔）

教育次長。

教育次長（滝沢泰宏）

最初の 5 年間の購入については、最初は右も左も分からない状態からスタートしたところもありましたが、各家庭への持ち帰り、AI ドリルの導入、そういったところも整備を行いまして、一定程度の活用はできたと考えております。ただ、もう少し教員が、より子どもたちに指

導できるような体制を今後もこちらが研修等を重ねながら整備していく必要があると考えておりますので、その分については、また検討していきたいと思っております。

購入費の圧縮については、全体としてどれくらい圧縮できたかという具体的な数字はこちらは把握はしていないのですが、県内の自治体で言いますと、今回の共同調達で 17 市町村が同時に契約をしたということです。津南町は 560 台を購入したわけなのですが、この契約で約 3 万台弱を一括購入していますので、それによるボリュームディスカウントは非常に効果はあったと考えております。

議長（恩田 稔）

7 番、風巻光明議員。

（7 番）風巻光明

4 社のプロポーザルによる購入ということですので、まさにこれはプロポーザル随意契約になると思います。700 万円以上の予定価格であるために議会に諮りますということなのですけども、予定価格は幾らだったのですか。

議長（恩田 稔）

教育次長。

教育次長（滝沢泰宏）

1 台当たりの端末が国の補助事業で 5 万 5,000 円というものがあります。すみません、今、数字として電卓を持っていないのですが、5 万 5,000 円の 560 万円分というのが予定価格として、我々としては想定していたというところになります。

議長（恩田 稔）

7 番、風巻光明議員。

（7 番）風巻光明

5 万 5,000 円の 560 台で 3,700 万円ですか。ちょっと安いみたいな気がするのですがけれども、いいです。それで計算したということですね。5 万 5,000 円掛ける 560 台で予定価格を出したということですね。

議長（恩田 稔）

教育次長。

教育次長（滝沢泰宏）

予定価格としては、そちらで計算しておったのですが、契約の後に町単独でオプションということでフィルタリング契約と 5 年間の端末補償を加えて契約させていただいたところでございます。

議長（恩田 稔）

ほかに質疑はありませんか。

—（質疑者なし）—

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 49 号について採決いたします。

議案第 49 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 49 号は原案のとおり可決されました。

日 程 第 5

議案第 50 号 令和 7 年度津南町一般会計補正予算（第 4 号）

日 程 第 6

議案第 51 号 令和 7 年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）

日 程 第 7

議案第 52 号 令和 7 年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）

日 程 第 8

議案第 53 号 令和 7 年度津南町特定環境保全公共下水道事業会計補正予算（第 1 号）

日 程 第 9

議案第 54 号 令和 7 年度津南町農業集落排水事業会計補正予算（第 1 号）

議長（恩田 稔）

議案第 50 号から議案第 54 号まで一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

議案第 50 号から議案第 54 号まで一括して主なものを説明いたします。

一般会計の総務課関係では、歳入で、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増、国勢調査委託金の増、ふるさと支援まちづくり基金寄附金企業版の増、ふるさと支援まちづくり基金繰入金の増、前年度繰越金の増、コミュニティ助成交付金の増、緊急自然災害対策事業債の増。歳出で、テレビ視聴料の増、勤怠管理システムに係る電算処理委託料及び電算機機使用料の増、ふるさと支援まちづくり基金積立金の増、交通安全対策消耗品費及び修繕料の増、定額減税補足給付金事務費及び給付金の増、ニュー・グリーンピア津南修繕料及び運営支援基金積立金の増、地域活性化起業人設置事業負担金の増、コミュニティ助成事業補助金の増、国勢調査事業費の増などでございます。

福祉保健課関係では、歳出で、老人福祉総務費の財源変更、医学生等就学資金貸付金の増、クアハウス津南修繕料の増でございます。

農林振興課関係では、歳入で、緊急消雪促進対策事業費県補助金の増。歳出で、小松原農道除雪費負担金の増、春季緊急消雪促進対策事業補助金の増でございます。

観光地域づくり課関係では、歳出で、津南観光物産館修繕料の増、萌木の里修繕料の増でございます。

建設課関係では、歳出で、農業集落排水事業会計繰出金の増、林道東秋山線の修繕料及び補修工事費の増、防犯灯柱修繕料の増、町道の倒木処理費及び路肩補修工事費の増、除雪機械整備修繕料の増、集落施設克雪対策助成事業費の増、下水道事業会計繰出金の増でございます。

教育委員会関係では、歳入で、関係団体負担金の増、豊かで快適な雪国づくり推進事業県補助金の増。歳出で、ひまわり保育園備品購入費の増、津南小学校施設整備工事費の増、津南小学校備品購入費の減、埋蔵文化財活用拠点施設管理人報酬の減、遺跡発掘調査事業事務費等の増、民俗資料館修繕料の増、マウンテンパーク津南修繕料及び備品購入費の増でございます。

国民健康保険特別会計では、歳入で、保険給付費等特別交付金の増、子ども子育て支援金制度の円滑な施行に向けたシステム整備費等国庫補助金の増。歳出で、システム改修委託料の増でございます。

後期高齢者医療特別会計では、歳入で、子ども子育て支援金制度の円滑な施行に向けたシステム整備等国庫補助金の増。歳出で、システム改修委託料の増でございます。

特定環境保全公共下水道事業会計では、歳入で、一般会計補助金の増。歳出で、機械設備修繕料の増でございます。

農業集落排水事業会計では、歳入で、一般会計補助金の増。歳出で、機械設備修繕料の増でございます。

細部につきましては、担当課長が説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

総務課長（高橋昌史）、福祉保健課長（野崎 健）、農林振興課長（小島孝之）、観光地域づくり課長（石沢久和）、建設課長（鴨井栄一郎）、教育次長（滝沢泰宏）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

換気のため午前 11 時 40 分まで休憩いたします。

—（午前 11 時 33 分）—

—（休憩）—

会議を再開いたします。

—（午前 11 時 40 分）—

議長（恩田 稔）

これより一括して質疑を行います。

11 番、江村大輔議員。

（11 番）江村大輔

では、総務課に二つ、お願いします。50 号の 8 ページ、ニュー・グリーンピア津南運営支援基金積立金と、その次の 9 ページのコミュニティ助成事業補助金についてです。

1点目のニュー・グリーンピア津南の支援基金積立金のことで、先ほど、条例のところでも話をしたエレベータは11基だったので、11基です。エンジニアリングレポートの中で160ページに、2025年に9億6,812万2,000円が修繕費の合計で掛かるとなっていて、そのうち今回の2,357万円はこの中に入っていると思うのですが、そういう認識でいいですか。これは何かというと、昨日来、一般質問でも（あったように）、譲渡するとなったときに、これは本来、次の所が修繕するという認識でいたはずが前倒しになって修繕したということであれば、この2,357万円というのが次の譲渡に何か影響するのか、一つお聞かせください。

続いて、コミュニティ助成事業補助金については、これは災害用テントということだったのですけれど、町内の集落に募集するということなのでしょう。

以上です。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

まず、1点目の関係です。申し訳ありませんが、議員がおっしゃったエンジニアリングレポートの数字的な部分が私は今手元に無いものですから、2,357万円は、先ほど少しお話させていただいたエレベータとか空調、トイレというものがここに入っているのかどうかというのが確認はできないのですが、ただ、考え方とすれば、これが例えば9月以降に新会社にということで譲渡を仮にされたということにしましても、今現在、既に私どもは家主という責任のなかで緊急的に行わなければいけない、あるいは安全・安心を担保しなければいけないということであれば、まずは私どものほうでしっかりとそこは修繕させていただくということが肝要なのだろうと思っております。ただ、その次の段階で、その部分が入っていたから、その部分を抜かして次の、これは分かりませんが、例えばA社であれば10億円、B社であれば6,400万円の購入の中で見ていたのだから、その分を引けとか足せとかという話は今の段階ではできないのかなと。また交渉の中で、そういったお話ができるのであれば交渉していきますが、今現在、私どもとしては家主の責任としてしなければいけないと思っています。

それから、コミュニティ助成事業につきましては、既に町内の集落がこういった災害に備えて、ぜひ整備したいということで手上げをしていただいて、その実績として整備をこれからしていくというのに対してです。これは上限額があり、この上限額の範囲内であれば、全てコミュニティ助成事業交付金で賄えるのですが、今回、対象にならない補助対象以外の部分については、集落の一部負担金というものも出てきています。ただ、この430万円については、ほとんどその一集落の所に行くというかたちにはなっています。

議長（恩田 稔）

11番、江村大輔議員。

（11番）江村大輔

では、先ほどのニュー・グリーンピア津南のほうも確認してもらって。160ページに全体の9億6,800万円が2025年に掛かるという、これが基本的な情報として話が進んでいっている

と認識しているので、その中の 166 ページに今度はエレベータの場所があって、そこには 2025 年に 1 億 6,364 万円を掛けて修繕が必要だという報告なのです。ということは、そのうちの約 2,000 万円分を今回やることになるのではないかなという認識があるので、そういうものは、今、総務課長の答弁があったように分からないかもしれませんが、一つの話としての前提が変わっていくというなかでは交渉の中に入るものなのではないかなと思います。先ほどの答弁以上のものは無いと思いますが、基本的にはエンジニアリングレポートに入っていたものを前倒しでやるということは交渉の一つにはなるのではないかなということで、もう一度、聞かせていただきたいと思います。

あと、災害用のテントについては手上げ済みということで、これは 2 間×3 間みたいな大きいテントなのですか。それとも、3 m×3 m とかの小さいテントなのか、これはどのような備品なのでしょうか。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（鈴木正人）

1 点目のところについてはまた確認をいたしますが、今回、緊急的に 11 台あるうちの 2 台が、議員がおっしゃるエンジニアリングレポートの修繕のエレベータだったかどうか。あるいは、今申し上げた今回の制御盤とかワイヤーとか、各階に止まるセンサーとかという辺りのものがその中に含まれていたのかどうかというのは、大変申し訳ないのですが、今この場ではお答えできません。そういったものが含まれていたのだということであれば、議員がおっしゃるとおりになるかとは思いますが、それとは別のところの、今言った金額と別のものであったということであれば、きっとお話は違うものになるかなと思っています。そこは少し確認をさせていただきたいと思っております。

それから、1 集落での助成事業は災害用のテントということはお聞きしていますが、その小中大の大きさについては、今ほど私のほうで手元資料がございませんので、また後ほどお答えさせていただきます。今はできかねるということで御理解いただければと思ってございます。

議長（恩田 稔）

11 番、江村大輔議員。

（11 番）江村大輔

確認なので確認していただきたいのですが、エレベータもこの資料上だと本館と東館で分かれて書いてある場所があるのです。今回、今ほど言った 1 億 6,300 万円というのは、本館のほうのエレベーター一式を 2025 年にやるとなっているのです。一式の中なので、本館であれば本館の 2 基がというのと、東館だと今度はその修繕は 2035 年の修繕になっているのですけれど、これは本館なのか東館なのかというのはどちらなのですか。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

今回の修繕につきましては、本館の客室エレベータということでお聞きしております。

議長（恩田 稔）

9 番、栞原洋子議員。

（9 番）栞原洋子

農業の関係です。10 ページの緊急消雪促進対策、今年、雪消えが遅かったわけですが、この事業の補助金は足りたのでしょうか。それと、全体で何件くらい要請があったのか、教えてください。

議長（恩田 稔）

農林振興課長。

農林振興課長（小島孝之）

ありがとうございます。緊急消雪促進対策事業の関係でございます。きっと令和 6 年度分の 3 月に補正をさせていただいたと思うのですが、その分については今回申請がありまして、558 万円ほどの支払いでして、きっと 3 月に補正した分で足りています。今回、雪が非常に多かったものですから、4 月にどうしてもやらなければいけない。3 月にできなくて 4 月にやる農業者が通常よりも非常に多くて、今回、補正させていただいたのが 4 月分として 450 万円の補助金の計上をさせていただきました。先ほども言ったように、農業者の皆さんが言われるのが「3 月にしたかったのだけれども、余りにも多すぎて、もうちょっと少なくなってからやるようなかたちをしたい。」というお話があって、4 月まで延ばした方が非常に多かったです。今回、3 月分につきましては、大体 100 件のお申込みになります。4 月分については 54 件のお申込みがございました。合計で 1,000 万円ほどの町からの補助ということでございます。その 2 分の 1 が県から補填されるというものになります。よろしくお願いします。

議長（恩田 稔）

ほかに質疑はありませんか。

—（質疑者なし）—

質疑を終結いたします。

討論、採決はそれぞれ議案ごとに行います。

議長（恩田 稔）

議案第 50 号について討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 50 号について採決いたします。

議案第 50 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 50 号は原案のとおり可決されました。

議長（恩田 稔）

議案第 51 号について討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 51 号について採決いたします。

議案第 51 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 51 号は原案のとおり可決されました。

議長（恩田 稔）

議案第 52 号について討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 52 号について採決いたします。

議案第 52 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 52 号は原案のとおり可決されました。

議長（恩田 稔）

議案第 53 号について討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 53 号について採決いたします。

議案第 53 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 53 号は原案のとおり可決されました。

議長（恩田 稔）

議案第 54 号について討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 54 号について採決いたします。

議案第 54 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 54 号は原案のとおり可決されました。

日 程 第 10

議案第 55 号 令和 7 年度津南町一般会計補正予算（第 5 号）

議長（恩田 稔）

議案第 55 号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

議案第 55 号について説明いたします。

総務課関係では、歳入で、ふるさと支援まちづくり基金繰入金の増、ニュー・グリーンピア津南運営支援基金繰入金の増、前年度繰越金の減。歳出で、ニュー・グリーンピア津南整備費修繕料の増でございます。

細部につきましては、総務課長が説明申し上げますので、よろしくお願いいたします。

総務課長（高橋昌史）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

これより質疑を行います。

—（質疑者なし）—

質疑はないものと認め、質疑を終結いたします。

議案第 55 号について討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 55 号について採決いたします。

議案第 55 号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 55 号は原案のとおり可決されました。

日 程 第 11 議員派遣の件について

議長（恩田 稔）

議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第 127 条の規定により、お手元に配布した内容で議員を派遣することにしたいと思
います。

これに御異議ありませんか。

—（異議なしの声あり。）—

異議なしと認めます。

よって、議員派遣の件については、お手元に配布したとおり派遣することに決定いたしまし
た。

日 程 第 12
委員会の閉会中の継続調査及び審査について

議長（恩田 稔）

委員会の閉会中の継続調査及び審査についてを議題といたします。

議会運営委員長から会議規則第 75 条の規定により、お手元に配布したとおり閉会中の調査・審査の申し出がありました。

お諮りいたします。

議会運営委員長からの申し出のとおり、閉会中の調査・審査に付することに御異議ありませんか。 —（異議なしの声あり。）—

異議なしと認めます。

よって、議会運営委員長からの申し出のとおり、閉会中の調査・審査に付することに決定いたしました。

議長（恩田 稔）

以上をもって、本定例会に付議された事件の審議は全て議了いたしました。

町長より挨拶を求められておりますので、これを許可いたします。

町長。

町長（桑原 悠）

本定例会、慎重審議をいただき、誠にありがとうございました。

町内では、田植がほぼ終わりました。緑一色となってまいりました。この 1 か月、毎日のようにお米の報道が続いております。とにかく米価を下げるべきだという世論がどんどん大きくなっていたなか、担当大臣の交代がありまして、高騰した米価を抑える、下げるという消費者視点の政策が進められているところでございます。ただ、米価を下げた後のビジョンが見えない、示されないということに農家・生産者側は不安を抱いているという声を現場からお伺いしています。価格は低きに流れるものでありまして、既に影響が表れ始め、この秋を見込んで資機材を購入された方々もおられ、非常に右往左往しているというお話も伺っているところでございます。国の皆様からは、農業の現場に来ていただき、農家との懇談、納得を得るような動きをしていただきたいと、あらゆるルートで要望をしているところでございます。議員の皆様からも、しかるべき場所で米産地の議員として声を上げていただきたいと思っております。

また、ニュー・グリーンピア津南におきましては、この度の御質問等もいただきましたけれども、継続して議論をさせていただきたいと思っております。皆様の声も踏まえまして、慎重に進めさせていただいておりますため、一部スケジュールに遅れが生じる可能性がございますことは、現時点からお含みおきをいただきたいと思いますと思っております。

また、町民の皆様からは、コロナ禍を挟みながら、医療機能を今日まで確保し続けてきたことについて、一定の評価をいただいているところでございますけれども、全国の病院経営が大変厳しくなっておりますなか、町立病院も人口減に対応した医療の在り方について、遠くないうちにお話を切り出させていただきたいと思っております。

また、この度、学校統合に関する条例の改正について御可決をいただきました。また、1人1台端末の入替えについても御承認をいただいたところでございます。今、教育現場については、ダイバーシティの浸透などの影響もありまして、教育の正解の定義が幅広くなっております。子どもたちは、偏差値やテストの点数の重要性以上に、個々の生活や環境に応じた学びをサポートする、そういった重要性もますます高まってきているところでございます。そうした環境への対応や、また、探求学習、デジタル、教員の働き方改革なども踏まえまして、そういった取組を並行したなかで、津南らしい魅力ある教育を構築してもらいたいと教育委員会、教育現場を見つめているところでございます。

これら一つ一つの課題について、必死に取り組ませていただいているところでございます。町は、長期での取組が必要となりますので、議員の皆様からも引き続き具体的な御質問や御要望をいただき、議論を重ねながら、一つ一つ方向性を見出していければと思っております。本定例会、多様な御意見を賜り、ありがとうございました。

以上をもちまして、閉会に当たり御挨拶といたします。ありがとうございました。

議長（恩田 稔）

これにて令和7年第2回津南町議会定例会を閉会いたします。

—（午後0時06分）—